

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第85回）に係る面談（2回目）
2. 日時：令和2年11月9日（月） 10時00分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者  
原子力規制委員会  
田中委員、伴委員  
原子力規制庁  
櫻田原子力規制技監  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、田上係長、久川係員  
福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）  
小林所長、坂本原子力運転検査官  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
小野CDO他プロジェクトマネジメント室7名（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一原子力発電所5名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第85回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 放射性物質分析・研究施設第2棟の安全設計について
- 1-4号機SGTS室調査の進捗について
- 多核種除去設備等処理水の二次処理性能確認試験について
- 2020年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策について

○原子力規制委員会及び原子力規制庁から、以下についてコメントした。

#### 【放射性物質分析・研究施設第2棟の安全設計について】

- 地震による機能喪失と火災が同時発生した場合における火災防護に係る安全設計の考え方について示すこと。
- 休日・夜間における緊急事態発生時の対応方針について説明を追加すること。
- 火災発生時の通報連絡に係る役割分担について、原子炉等規制法に基づく事故故障等の報告など国への報告に係る説明を追加すること。

#### 【1-4号機SGTS室調査の進捗について】

- 11月9日に予定している3号機SGTSフィルタトレイン開放の調査については、写真等の調査結果に加え、調査による水素発生量・ダスト飛散量・作業員の被ばく線量等のデータについても示すこと。

#### 【多核種除去設備等処理水の二次処理性能確認試験について】

- 二次処理性能確認試験の結果について、ルテニウム-106 やストロンチウム-89

の検出限界値が二次処理の前後で異なっている理由について、実施した測定、算出方法等も踏まえ説明を追加すること。

- 測定結果を説明する際は核種ごとの測定の精度についても言及すること。測定精度について課題がある場合は、どのような課題があるのか説明すること。
- 核種ごとの測定時の検出限界値の目標値の考え方について説明を追加すること。
- ALPS の運用と性能の関係を示すこと。

【2020 年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策について】

- 今年度上半期に生じた不適合・検査指摘事項に係る分析・評価による結果も踏まえて、組織改編による効果を分析すること。分析結果については、次々回 12 月の検討会で議論することとしたい。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて準備を行う旨の回答があった。

6. 資料

- 放射性物質分析・研究施設第 2 棟の安全設計について（案）
- 1-4 号機 SGTS 室調査の進捗について（案）
- 多核種除去設備等処理水の二次処理性能確認試験について（案）
- 2020 年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策について（案）